



# 大阪暁明館 だより

2017.4  
spring

## 大阪暁明館病院 基本理念

大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します。

## 職員行動指針

我々は、

1. 最良の設備、環境を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 愛情と尊敬をもって接し、何が最良かを一緒に考え、温かい医療を実践します。
3. 地域の医療、介護を行う方々と連携し、地域の皆様の健康と生活を守ります。
4. 医療を通じて自己研鑽し、健全な病院運営を行い、社会貢献を果たします。

## 看護部長に就任いたしました

近年、2025年問題に焦点となり医療のあり方が問われ、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築という2つの柱を背景に、診療報酬の改定が行われてきました。2018年度の改訂ではこれらを徹底するための仕組みを構築する改定とされています。

大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指すことを理念としています。そして、急性期・回復期・慢性期の機能を持ち、さらには老人保健施設・クリニック・デイサービス・訪問看護に至る医療・看護・介護を展開してきたグループ病院です。平成29年度は陽子線治療も始まる予定であり、まさにこれから求められるものすべてを兼ね備えた病院と言えます。これらの環境を活かし、大阪暁明館病院看護部は、「すべての人々に信頼される心のこもった看護の実践」を理念とし、看護を展開して来ました。

今後、医療チームの一員として協働できる自立した看護師の育成に取り組み、患者様中心の医療・看護・介護に臨み、前看護部長の思いを大切にし、さらに質の高い看護の提供と働きやすい職場づくり、地域の方々から信頼される病院を目指します。

看護部長 秦谷 美佐枝



### 看護部理念

すべての人々に信頼される 心のこもった看護を実践します

### 看護部基本方針

個々の権利を尊重し、安全で安心できる看護を実践します

専門職としての自覚を持ち、能力開発に努めます

地域との連携を密にし、看護活動を通して地域に貢献するとともに病院経営に積極的に参画します



## 女性特有の泌尿器科疾患について



大阪暁明館だよりをお読みの皆さま、はじめましてこんにちは。私は平成28年7月から当院泌尿器科で勤務している松下千枝と申します。女性の泌尿器科医だからというわけではありませんが、女性泌尿器科と排尿障害を専門としています。女性泌尿器科というのは、文字通り、女性特有の泌尿器科疾患を扱う分野です。

女性は、骨盤の中の臓器（膀胱・子宮・直腸）を、骨盤の底を覆うようについている筋肉（骨盤底筋）によって支えて生きています。その骨盤底筋が、妊娠・出産によってダメージを受けたり、弾力性が低下して支えきれずに膀胱が下がってしまうと、おなかに力がかけたときに締まるはずの尿道括約筋が締まらずに尿が漏れてしまいます。これは、腹圧をかけたときに尿が漏れるので、『腹圧性尿失禁』とよばれる‘尿道のトラブル’です。また、尿意とともに勝手に膀胱が収縮してしまって尿が漏れる『切迫性尿失禁』とよばれる‘膀胱のトラブル’もあります。女性は尿道が短いこともあって、とにかく尿漏れのリスクにさらされています。

『腹圧性尿失禁』は、尿道を締める骨盤底筋体操や、内服加療、電気・磁気刺激療法、手術療法で治療を行います。少しだけ漏れるけど恥ずかしいし、まだ治療は必要ない！とお考えの方もたくさんおられると思いますが、普段はそんなに漏れていなくても、例えばお子さんと一緒に縄跳びをしたときにもれたり、楽しみにしていたスポーツをしているときにもれたりなど、その尿漏れが生活の質を著しく低下させている場合は、積極的な治療に踏み切るのもよいと思います。ちなみに手術は15～30分ほど、入院期間は3～4日です。少しの勇気と少しの有休で、その尿漏れ、治してみませんか？

さて、話は‘膀胱のトラブル’にうつりましょう。皆さまはテレビやコマーシャルで『過活動膀胱（OAB）』『切迫性尿失禁（UUI）』という言葉を目にしたことはありませんか？急におこる我慢が難しいと感じる尿意のことを尿意切迫感と呼ぶのですが、その尿意切迫感がある状態を過活動膀胱といいます。そし

て、尿意切迫感があり、その後が続いて尿が漏れてしまう状態を切迫性尿失禁といいます。

治療法は、主に薬物療法となりますが、便秘や肥満、生活習慣を改善するだけでも効果がある場合もあります。内服、貼付、膀胱内注射などの薬物療法を試し、是非、自分に合った治療を見つけてください。

最後に、THE・女性特有の泌尿器科疾患、『骨盤臓器脱』について少し説明させていただきます。女性の骨盤の中には子宮、膀胱、直腸などの臓器が詰まっていて、その臓器が出産などで緩んでしまった膣の中に落ち込み、膣壁を押し出す形で体外に脱出してしまう病気が骨盤臓器脱です。脱出している臓器によって子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤などの名称に分かれています。膣のあたりにピンポン玉みたいなものが触れる、股から何かぶら下がっている、夕方になるとおしもがひっぱられるような感じがある、尿が出にくいなどの症状が特徴です。多産、高齢出産、体重が10kg以上増加した、重労働をしている方に多いとされています。骨盤臓器脱の治療法は、以前は子宮を摘出する、伸びてしまった膣壁を縫い縮める、などが行われていましたが、もともと伸びてしまっている組織を利用した手術のため、再発率が高いという問題点がありました。最近では、感染に強いポリプロピレン製のメッシュシートを用いて骨盤臓器脱を修復する、TVM（Tension free vaginal mesh）手術やLSC（Laparoscopic salcocorporectomy）手術なども普及しており、様々な治療が行われています。手術時間はTVM手術であれば1～2時間、LSC手術は4時間ほどです。

上記の治療は当院でも積極的に行っておりますので、もし心当たりがあれば、思い切って泌尿器科をご受診いただければと思います。快適なおしもライフを送るお手伝いをさせていただきます。

泌尿器科医長  
松下 千枝



# このはなオレンジチーム

(此花区認知症初期集中支援チーム) が誕生しました！！



此花区南西部地域包括支援センターにこのはなオレンジチームが誕生しました。私たちは認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活が継続できるように、対象となる方々を訪問し適切な医療や介護につなげ、早期の段階で集中的にサポートさせていただきます。

対象になるのは、40歳以上で在宅で生活をされている方のうち

- ① 認知症の疑い（診断を受けていない）の方、又は治療を中断している方
- ② 医療サービスや介護サービスを利用していない方、又は中断している方
- ③ 認知症の症状で対応に困っているご家族の方

私たちがチーム員です！  
お気軽にご連絡ください。  
どうぞよろしくお願い  
いたします。



## <このはなオレンジチームの連絡先>

〒554-0022

此花区春日出中1-27-13YMS此花ビル701（7月1日同ビル1階へ移転）

電話：06-6462-1087 FAX：06-6462-9310

相談時間：月～金曜日 9時～17時30分まで（土・日・祝はお休み）

☆平成29年4月1日より 月～土曜日 9時から17時まで（日・祝はお休み）



## さくらフェスティバルで「無料健康相談」

平成29年4月2日（日）、春日出商店街振興組合主催の「さくらフェスティバル」が此花公園で開かれ、当院も無料健康相談を行いました。昨年同様、朝から青空が広がる暖かい天気、当院のブースには158名もの方が訪問されました。当院のスタッフがそれぞれ、健康、栄養、薬のコーナーに分かれ相談会を実施したほか、各種パンフレットを配布し、来訪者に病院をアピールしました。



# お近くの「かかりつけ医」ご紹介

## HABA クリニック 内科・皮膚科・漢方

～ふれあいとぬくもりに満ちたクリニックを目指します～

自分では病気と思えない些細なお体の悩みはありませんか？  
「かかりつけ医」として素早く丁寧に最適な治療を行って参ります。  
あなたやあなたのご家族が健康で快適に毎日を送って頂けるよう、  
親身にアドバイスをいたしますので、お気軽にご相談ください。



※休診日:木曜午後、日曜、祝日

院長 八幡 暁直

※漢方治療は保険診療です。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
10:00～13:00	○	○	○	○	○	○	/
17:00～20:00	○	○	○	/	○	/	/

## 母親学級開催

3月11日(土)当院5階産婦人科外来にて妊娠中期の母親学級が行われました!栄養士から妊娠中の食事について、また助産師と医師から妊娠中の注意事項について、時折笑いも交えながらお話をいただきました。今回は妊娠中の方々のみならず多数の旦那様もご参加いただきありがとうございました。

今後も第2土曜日(中期)と第4土曜日(後期)を中心に毎月開催していきますので、当院妊婦健診中の皆さまぜひご参加下さいませ。



〒554-0024

大阪市此花区島屋 6-2-90

リバーガーデンさくらの丘 D 棟 403

TEL : 06-6460-8896

## 大阪暁明館だより

平成29年4月10日発行



社会福祉法人 大阪暁明館

大阪暁明館病院

〒554-0012 大阪市此花区西九条 5-4-8

電話 (06) 6462-0261 (代表)

FAX (06) 6462-0362

<http://www.gyomeikan.or.jp>